

所属	看護学部／ヘルスプロモーション看護学系	職名	准教授	氏名	吉田 恭子
----	---------------------	----	-----	----	-------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

高齢社会を支える一つの方法としての介護保険法は、在宅療養者やその家族、その人々を取り巻く保健福祉医療職種の在り方を再考する機会となりました。要援護者の増加への対策を中心に介護保険法は改正を繰り返しており、介護予防への取り組みと同時に、多死時代を迎えるにあたり、死にゆく人と家族へのケアも重要になってきます。そのため、在宅療養中の高齢者とその家族のケアマネジメントをテーマとして、質の高い生活を維持できるような看護実践の検討について考えています。また、病歴が長い糖尿病を抱える高齢者への関わりを検討しています。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

- ・吉田恭子. (2018). 小規模多機能型居宅介護職員の介護経験と職場満足と終末期ケアに与える影響, 九州社会福祉研究, 第 42 号, 1-12
- ・尾形由起子, 櫛直美, 小野順子, 吉田恭子, 杉本みぎわ, 阿部久美子, 岡田麻里. (2017). 終末期がん療養者の配偶者による在宅看取り実現のためのセルフマネジメントに対する支援方法の検討—多職種フォーカス・グループインタビューの結果より—, 福岡県立大学看護学研究紀要, 第 14 巻, 41-47
- ・吉田恭子, 渡邊智子. (2014). 10 年後もその先も, 住みたいところに住み続ける互助・共助—地域住民の支え合いを活用した支援プログラムの効果と課題—, 認知症ケア事例ジャーナル, 第 6 巻第 4 号, 391-396

### ②その他最近の業績

〈学会発表〉

- ・吉田恭子、小規模多機能型居宅介護における職場満足と近親者への看取り介護経験との関連、日本社会福祉学会九州地域部会、熊本、2017 年
- ・Tsuyako Hidaka, Satsuki Obama, Kyoko Yoshida, Naoki Harada, Kencho Matsuura: The effects of Nursing Career Café for undergraduate students to cultivate their sense of resilience to become nursing professional –introducing the effective of Inter-University Collaborative Education-, The 3rd International Conference on Caring and Peace in Fukuoka, 2017.
- ・吉田恭子、平塚淳子、小規模多機能型居宅介護職員の看取り介護経験と地域連携との関連、日本看護科学学会学術集会、東京、2016 年
- ・吉田恭子、岡崎美智子、中島洋子、山崎尚美、岡部由紀夫、小規模多機能型居宅介護での看取りにおける専門職の調整技術、第 28 回日本看護福祉学会学術集会、福岡、2016 年
- ・勝田和典、吉田恭子、在宅医療推進時代における退院調整の困難の現状、第 27 回日本看護福祉学会学術大会、長崎、2014 年
- ・吉田恭子、渡邊智子、地域住民の互助を活かした認知症高齢者の支援プログラム 第 2 報、第 14 回日本認知症ケア学会大会、福岡、2013 年
- ・吉田恭子、岡崎美智子、平木尚美、岡部由紀夫、中島洋子、小規模多機能型居宅介護における看取りケア、第 26 回日本看護福祉学会学術集会、福岡、2013 年
- ・吉田恭子、渡邊智子、地域住民の互助を活用した認知症高齢者の支援プログラム 第 1 報、第 13 回日本認知症ケア学会大会、神奈川、2012 年

### ③過去の主要業績

- ・吉田恭子、勝田和典、酒井出、井上俊孝、権藤美和子、堤素子. (2012). 韓国大田広域市における高齢者福祉の現状—大田広域市の現地調査を通して—, 九州社会福祉研究, 第 37 号,

15-26

- ・吉田恭子. (2012). 患者さん・スタッフの質問にナースが答える糖尿病ケアQ&A200. 糖尿病ケア 2012 年春季増刊, 209-213

**5. 所属学会**

日本看護福祉学会、日本老年看護学会、日本看護学教育学会、日本看護研究学会、日本社会福祉学会、日本看護科学学会

**6. 担当授業科目**

在宅看護学概論・1単位・2年・前期、在宅看護学・2単位・2年・後期、在宅看護学演習Ⅰ・1単位・3年・前期、在宅看護学演習Ⅱ・1単位・3~4年・通年、在宅看護学実習・2単位・3~4年・通年、専門看護学ゼミ・1単位・3年・通年、統合実習・2単位・4年・通年、卒業研究・1単位・4年生・通年

**7. 社会貢献活動**

朝倉医師会在宅医療拠点事業運営委員会

**8. 学外講義・講演**

- ・福岡県立西田川高等学校, 「看護講演会」, 2017年10月
- ・福岡県消防学校, 「在宅医療法患者の処置」, 2018年2月

**9. 附属研究所の活動等**

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員